

# チルチンびと

住まいは、生き方  
地球生活マガジン

2011  
MARCH 65号  
隔月刊

障子の美と機能を解き明かす

## 紙一枚の風情

住宅事例／泉 幸甫、藤井 章、  
吉村順三＋日高章、川口通正

気鋭の和紙職人・ハシノワタルさんの暮らし

障子入門——歴史・基礎知識から  
お手入れ、科学的検査まで

ナナムイびとの暮らし

信州の山里でいそしむ、  
パンと家具づくり

福岡・大分／安成工務店

山とまちに心の交流を生む森林体験

定価 980円





右上・右中/ギャッベの色彩や絵柄は身近な大自然がモチーフ。右下/遊牧民のテント。中上/寒暖差の激しい環境で育つ羊からは上質な羊毛がとれる。中下/ギャッベの上で水タバコを吸う女性。左/遊牧民の若い女性は母からギャッベを織る技術を受け継ぐ。(写真提供/ポー・デコール)

# 心震わす アートギャッベ の世界

イランの遊牧民が代々つくり続ける絨毯、ギャッベ。上質な羊毛を紡いで草木で染め、自らの感性で織り上げる。深い色彩と素朴な風合い、明快なデザイン。その魅力は同境を越え、私たちの心に訴えかけ



イラン南西部ザグロス山脈の雄大な風景の中でギャッベを織る遊牧民。中央の女性が、100%自然素材の羊毛を紡いでいる。(写真提供/ポー・デコール)

がら、文字通り現代アートと呼べるものばかりだ。

「アートギャッベ」は100%自然素材。草木で染められた上質な羊毛で手づくりされる。それゆえ「人間のぬくもり」のようなものが感じられる。実際に50年も100年も使われ続けられているのは、単に丈夫なだけでなく、そこに味わいや愛着が生まれるからなのだろう。

ギャッベの色彩や絵柄は、ほとんどがザグロス山脈一帯の自然がモチーフとなっている。そこに広がる悠大な大地。しかし、よく見ると足元に可憐な花が咲いている。そのなんと美しいことか。夕日が山の端に落ちるとき空の色の移り変わり、夜の星の輝き。「アートギャッベ」の



## ギャッベの製作工程

1/紡ぐ。羊毛を紡いで糸にする。2/染める。紡いだ糸は、赤は茜の根、黄はウコン、茶は胡桃の皮、緑はジャシールという灌木、青は藍等を用いて草木染めする。3/織る。染めた糸を織り子が自由な感性で織り上げる。4/洗う。織り上がった絨毯を洗浄する。草木染めなので洗うほどに色が冴える。(写真提供/ポー・デコール)

## ずっと長く使える 人間味あふれる絨毯

ギャッベと呼ばれる絨毯をご存知だろうか。イラン南西部に連なるザグロス山脈一帯で暮らす、カシュガイ族などの遊牧民が先祖代々織り続けている「毛足の長い絨毯」のこと。過酷な自然を旅する遊牧民にとって、敷物として夜具として生活に欠かせない実用品である。

イランというとベルシャ絨毯が有名だが、はるかに素朴なギャッベは、価値が高い工芸品であるベルシャ絨毯の原型と言えれば分かりやすいかもしれない。ギャッベの中でも、最も上質な羊毛を使用し、技術と感性の高い織り手が織り出すものを、一般のギャッベとは別に「アートギャッベ」と呼んでいる。実用品でありな



色彩や絵柄は、そんな厳しくも美しい大自然の中に生きてきた遊牧民のDNAから生まれているのだ。

「アートギャッベ」が産み出されるこの地方のギャッベがなぜ上質なのか。その理由は、標高2000mを超える乾燥地帯特有の寒暖差にある。夏には一日で30℃もの温度差がある。厳しい環境に育つ羊の毛は、ラノリンという油分を豊富に含んでいるという。冬暖かいだけでなく、夏はサラッとした肌触りが得られるのも、この環境によるものなのだ。

「アートギャッベ」は素材も安全、小さな子どもへの感受性を育むにも最適だ。家族とともに育っていくことのできる、人間味にあふれた、丈夫で美しい本物の絨毯といえる。





薪ストーブの良を愛しみながらアールギャップの上でくつろぐ。愛犬もアールギャップがお気に入り。



リビングには、ルリバフトと呼ばれる古典文様のオールドギャップが敷かれています。30年ほどイランの商家で使われていたものだそう。時間を蓄積したオールドギャップが、真新しい室内に落ち着いた空気を漂わせている。和室には3世代に渡り使われていたという100年もののアンティークギャップが、生命の樹がデザインされ、いつも長老が座つ

## 事例1・今井邸

### 使うほどに味わいを増し 愛情も思い出も増えていく

竣工して間もないこの家は、ギャップの選定人、今井正人さん（7頁参照）のお宅だ。シンプルモダンな室内に、大きさまざまなギャップがさりげなく敷かれている。そんなプロの使い方はとても参考になるだろう。

玄関ドアを開けると土間に1枚のギャップ。その前で靴を脱ぎ、その上を歩いて室内に入るようになっていく。「訪れた人をギャップで迎えたいと考えました。もともとギャップは大地の上で使うもの。とても丈夫なんです」（今井さん）

リビングには、ルリバフトと呼ばれる古典文様のオールドギャップが敷かれている。30年ほどイランの商家で使われていたものだそう。時間を蓄積したオールドギャップが、真新しい室内に落ち着いた空気を漂わせている。和室には3世代に渡り使われていたという100年もののアンティークギャップが、生命の樹がデザインされ、いつも長老が座つ



右から／キッチンでも一年を通して重宝する。／玄関土間に敷かれたメダリオン柄のオールドギャップ。／和室には生命の樹が描かれた100年もののアンティークギャップが。／長男の個室に敷かれたモダン柄のギャップ。

## 事例2・長谷川邸

### 家族が自然と集まる 夏も冬も心地よい肌触り

山小屋のような雰囲気をもつ長谷川邸では、薪ストーブを設置したのびやかなリビングに、赤い大きなギャップを敷いている。「インテリアショップで出会い、自然な色彩や風合いに強くひかれました。夏はサラッと、冬は暖かい肌触りがとても心地よいですね。主人や私はもちろん、4歳の息子や愛犬も自然とここに集まってくるんですよ。みんな心地よい素材や場所をよく知っているようですね」（奥さま）



草木染めによる自然な色合いは木や自然素材の家になじみやすく調和する。

ていた部分が擦り切れていて、それがまた味わいとなっている。

長男の個室にあるギャップは、これまで住んでいた家のリビングです。つと使っていたもの。いずれ独立する時に家族と過ごした思い出にもたせるつもりだという。ライオンを描いた2枚のギャップは、現在小もの

長女が幼稚園児のときに描いた紙版画をもとに現地で織ってもらった特別なギャップだ。

「ギャップは100%自然素材で手づくりされたもの。使うほどに味わいが増して、愛情も思い出も増えていく。家族とともに育っていく楽しみがあるんですよ」（今井さん）

購入したときよりも色目が少し落ち着き、風合いも深まってきているという。そんな経年変化の楽しみも、木の家と同じ木物の素材だけが持つ魅力と言えるだろう。



## アートギャッベ選定人のコメント

9年ほど前にアートギャッベと出会い、その魅力に惹かれ、気がつくと現地に足を運んでいました。どんな人たちが、どんな場所で、何のためにギャッベをつくっているのか……自分の目で確かめたかったです。悠大な自然と遊牧民の生活に触れ、さらに強く惹かれることに。その後、ギャッベについて学び、アートギャッベの選定人となりました。年に2〜3度は必ず現地に赴き、その空気に触れ、現地の人びとと生活をともにした上で、一枚一枚自分の目で選定しています。何千年も伝え継がれる伝統工芸の美しさを伝える仕事は、大きな責任と同時に、やりがいと誇りを感じます。アートギャッベを一時的な流行や単なる販売目的にしたくはありません。そのためにも、人任せにせず、自分の目で選定したものだけを紹介していくスタンスは変わりません。一人でも多くの方にアートギャッベの魅力を知っていただき、その魅力を味わってほしいと願っています。ギャッベやキリムの収益の一部はアフガン難民の子どもたちの教育支援にあてさせていただいています。いまだ過酷な生活環境に暮らす彼らを、これからも支援していきたいと思っています。



上2点/アートギャッベの選定風景。現地に赴き自分の目で一枚一枚選んでいく。右下/現地の空気に触れ、人びとの暮らしに触れながら選定するのが今井さんのこだわり。左下/ギャッベやキリムの収益の一部はアフガン難民の教育支援に用いている。アフガン難民のための学校の教室で今井さんを囲む子どもたち。(写真提供/ポー・デコール)



アートギャッベ  
ギャラリィ  
選定人が現地で厳選する  
アートギャッベは  
日本人の心に響くものばかりだ。



今井正人 (いまい まさと) / 1969年生まれ。ゾランヴァリ・アートギャッベ選定人。BDコーポレーション所属。2002年より現地ペルシアに赴き、ギャッベ純種専門の買付けを始める。東京はじめ全国39社の同社提携先の代表選定人として年に2、3度現地に赴いて買付けをし、アートギャッベ純種の魅力を全国に広める。ライフスタイルやインテリア関連の雑誌等におけるギャッベ特集の監修も行う。

アートギャッベ 検索 <http://www.artgabbbeh.com>

### 主なアートギャッベの解説

1/藍染めによる絶妙な濃淡により水と空を表現している。中央にあしらわれた魚の文様は「幸運」の象徴といわれている。2/中央に力強く伸びるのは「生命の木」、長寿・健康・成長の象徴であるこの文様は、ギャッベで最も多く用いられる代表的な図柄のひとつ。3/遊牧民カシュガイ族、夏営地の風景。のどかな風景の中に息吹く緑により、自然の生命力を表現したのだろうか。

4/50年程の時を刻んできたオールドギャッベ。過酷な条件で育まれた上質なウールで織りあげられるギャッベは、使い込むほどに艶と風合いを増し、肌ざわりもより一層柔らかく変化していく。5/40年程前に織られ、受け継がれてきたオールドギャッベ。ライオンは権威や力の象徴。サーベルを持つライオンは一家を見守る「守り神」。6/「夕日の色は茜色」の語源となった茜。その

茜で染められた夕日とラクダの群れ。ラクダは「成功、富」の象徴。7/草木染めによる鮮やかな多色グラデーションは、朝、昼、晩と移ろう一日の変化を表現している。8/ウコンで染められた鮮やかな黄色は草席を表現したのだろうか。中央に可愛らしくあしらわれた「鹿」は家庭円満の象徴。鹿は子どもに寄り添い大切に育てる習性があることに由来する。

## アートギャッベ主要取扱店

- beau decor (ポー・デコール)**  
〒956-0031 新潟県新潟市秋葉区新津4462-1  
TEL 0250-22-0195  
<http://www.lohasdesk.com>
- シュクレ 山形店**  
〒950-0031 山形県山形市十日町2-2-47  
TEL 023-622-2011  
[http://www.sucre.jp/s\\_yamagata.html](http://www.sucre.jp/s_yamagata.html)
- 宮田家具店**  
〒259-1145 神奈川県伊勢原市坂戸457-1  
TEL 0463-94-2261  
<http://www.miyata-i.com>

- シュクレ 水戸店**  
〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡4247-2  
TEL 029-292-6141  
[http://www.sucre.jp/s\\_mito.html](http://www.sucre.jp/s_mito.html)
- ルームアート 松井**  
〒142-0043 東京都品川区二葉3-22-2  
TEL 03-3781-5080  
<http://www.ram1951.jp>
- 石田屋 厚川店**  
〒921-8032 石川県金沢市清川町1-1  
TEL 076-280-4800  
<http://www.ishitaya.com>
- beau decor (ポー・デコール) 鶴井沢店**  
〒389-0111 長野県北佐久郡鶴井沢町大宇長倉20-157  
TEL 0267-41-0250  
<http://www.lohasdesk.com>

- 松屋家具店・くらし道具学研究所**  
〒380-0841 長野県長野市大門町45  
TEL 026-232-2346  
<http://www.matuboya-kogu.com>
- 永井家具店**  
〒395-0003 長野県飯田市上郷1府889-1  
TEL 0265-24-3223  
<http://nagai-koguten.jp>
- 万寿実家具**  
〒509-0214 岐阜県可児市広見662-3  
TEL 0574-62-1234  
<http://www.masumi-kagu.com>
- オーナヴィレッジ 山崎ホーム Yamanashi Office**  
〒506-0101 岐阜県高山市清見町牧ヶ沢840  
TEL 0577-68-2220  
<http://www.oakv.co.jp>

- 信 暮情 (wakuon)**  
〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋1-4-13  
TEL 052-322-3901  
<http://www.mdfurniture.jp>
- REAL Style HOME (リアルスタイルホーム)**  
〒468-0003 愛知県名古屋市中区天白区瑞の星1-215  
TEL 052-705-8136  
<http://www.real-style.jp>
- 暮らし工房 家具のサフキ**  
〒661-0021 京都府宇治市宇治妙楽34  
TEL 0774-23-1115  
<http://www.kurashi-kobo.co.jp>
- ARIA**  
〒629-2313 京都府与謝郡与謝町宇三河内1348  
TEL 0772-43-0247  
<http://www.aria-kyoto.jp>

- Pure Style (ピュアスタイル)**  
〒523-0004 滋賀県近江八幡市西生来町1229-3  
TEL 0748-37-7475  
<http://www.purestyle.co.jp>
- 本家真志ダンス**  
〒640-8220 和歌山県和歌山市下町58  
TEL 073-422-0303  
<http://www.h-kishi.co.jp>
- 定立ふとん店**  
〒684-0056 鳥取県境港市幸神町358  
TEL 0859-45-0336  
<http://www.anminzoku.jp>
- 橋本家具工芸 (ハシモト)**  
〒729-0141 広島県尾道市高須町4834-12  
TEL 0848-46-0303  
<http://www.hashimotokagu.com>

- インテリア職研 (職)**  
〒745-0001 山口県周南市辻町6-11  
TEL 0834-32-0807  
<http://www.i-hida.jp>
- カーサ・シモダ**  
〒783-0005 高知県南国市大崎乙862-1  
TEL 088-864-3131  
<http://www.cc-style.com>
- リビング・フーート**  
〒770-8052 徳島県徳島市沖浜2-28-2  
TEL 088-626-2408
- ミゾブチ家具**  
〒761-1703 香川県高松市香川町深野1306-5  
TEL 087-679-7111  
<http://www.deskman.co.jp>